

No.	第1期基本計画（記載内容を転記しています）			第2期基本計画に向けて	第2回審議会	対応案	評価担当部	基本計画ページ	
	基本目標	個別目標	個別目標の方向性	現状と課題	現状と課題（新）				意見
1	岸和田の次世代を育むまち	安心して子どもを生み、育てられている	① 妊産婦や乳幼児の切れ目のない健康づくりを進める	<p>近年の晩婚化や未婚率の上昇、女性の就業率の増加などにより、本市においても出生率の減少や高齢出産数の増加がみられる中、乳児死亡率がやや高い傾向にあります。</p> <p>今後も、妊産婦や乳幼児の健康づくりを支援するため、岸和田市内における産科診療体制の充実をはじめ、妊産婦家庭への個別相談などの充実や健診の促進が求められています。</p>	<p>近年の晩婚化や未婚率の上昇、女性の就業率の増加などにより、高齢出産数の増加や出生率の減少がみられ、乳児死亡率にも影響が大きくなります。</p> <p>今後も、妊産婦や乳幼児の健康づくりを支援するため、岸和田市内における産科診療体制の充実をはじめ、妊産婦家庭への個別相談などの充実や健診の促進が求められています。</p>	<p>事務局による追加変更</p>	<p>変更箇所に関して表現を修正する。</p> <p>【変更案】</p> <p>近年の晩婚化や未婚率の上昇、女性の就業率の増加などにより、高齢出産数の増加や出生率の減少がみられ、乳児死亡率にも大きく影響があります。</p> <p>今後も、妊産婦や乳幼児の健康づくりを支援するため、岸和田市内における産科診療体制の充実をはじめ、妊産婦家庭への個別相談などの充実や健診の促進が求められています。</p>	子ども家庭応援部	20-21
3	岸和田の次世代を育むまち	働きながら子育てができています	① 保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくりを進める	<p>共働き世帯の増加と核家族化により、家庭内だけで子どもを育てることが難しくなっています。本市においては、子育て世代の女性就業率の上昇がみられる一方、民間も含め、保育の量の確保が間に合っておらず、子どもを預けたいのに預けられないという待機児童の問題も依然として解消していない状況です。</p> <p>また、育児休暇の取得率も上昇傾向にはありますが、進んでいない事業者や男性の取得率の向上も課題になっています。</p> <p>就学前、学童期における保育の質と量の確保に加え、保護者が安心して働きながら子育てできるつながりの創出や機会が必要です。</p>	<p>共働き世帯の増加、核家族化、育児休暇制度の充実等により、子育てを取り巻く社会状況、子育てに対する保護者の考え方も多様化しています。本市においても、保育所入所を希望する世帯が増加する一方で、待機児童の解消が図れずに続いている現状があります。また多様化する保護者ニーズへの対応、保育の質の向上も重要になっています。</p> <p>保護者が安心して、働きながら子育てできるよう子育て環境の充実が必要です。</p>	<p>(1)「多様化する保護者ニーズへの対応」というように抽象的な表現になっている。前回の現状と課題は「男性の取得率の向上も課題になっています」とあり、また解決できていないような状態のため、前回の文言の方が現状と一致している。</p> <p>(2)保育所の入所選定は加点制になっており、総合通園センターに通っている子どものきょうだいは保育所に入れないこともある。これは、総合通園センターへは保護者も一緒に通園してもらうことが必要で働きに行けないことによる。こういったことも現状を認識しないと見えてこない部分である。</p> <p>(3)事務局による追加変更</p>	<p>(1)男性の育児休暇の取得率は高くないと認識しているものの、子育てに対する保護者の考え方が多様化しており、「何か何でも男性の育児休暇取得率を上げなければならない」というものではなくってきている。取得に対する法整備や環境整備は一定進んでいるため、変更案のとおりとしたい。</p> <p>(2)入所選定の加点の項目に、総合通園センターに通っている子どものきょうだいに関する要望があることは事業所管課も把握しており、「多様化する保護者ニーズへの対応」として検討を進めるところである。</p> <p>(3)変更案に関し、学童保育に関する内容を明確にするため、以下のとおり追加変更する。</p> <p>【変更案】</p> <p>共働き世帯の増加、核家族化、育児休暇制度の充実等により、子育てを取り巻く社会状況、子育てに対する保護者の考え方も多様化しています。本市においても、保育所や学童保育への入所を希望する世帯が増加する一方で、待機児童の解消が図れずに続いている現状があります。また多様化する保護者ニーズへの対応、保育の質の向上も重要になっています。</p> <p>保護者が安心して、働きながら子育てできるよう子育て環境の充実が必要です。</p>	子ども家庭応援部	22-23

No.	第1期基本計画（記載内容を転記しています）			第2期基本計画に向けて	第2回審議会	評価担当部	基本計画ページ		
	基本目標	個別目標	個別目標の方向性	現状と課題	現状と課題（新）			意見	対応案
5	岸和田の次世代を育むまち	子どもの健康と安全が保たれている	② 食育や体力づくりなど子どもの健康な身体づくりを進める	<p>乳幼児期は、基本的な生活習慣を身につけ、学童・思春期は、きちんと食べ、よく遊び、よく学び元気にのびのび育つ環境を整えることが、子どもの発育や成長を促すことにつながります。</p> <p>本市においては、毎日朝食を食べる児童生徒の割合は、増加傾向にありますが、全国平均より低いため、引き続き、適切な食習慣の理解促進が必要です。</p> <p>また、健全な発達・成長を支える体力づくりについても、学校と連携した取組などの推進を図り、児童生徒の体力・運動能力の向上をめざすことが求められています。</p>		<p>朝食を毎日食べていますか」に肯定的に回答した児童の割合が、すごく悪化しているように見受けられる。現状と課題や役割について特に変更がないが、変更すべきではないか。</p>	<p>かつての本市の朝食摂取率は全国平均を下回る中、第1期が始まる頃は増加傾向にあった。コロナ禍あたりから最近は、ご指摘のとおり増加の割合が伸び悩んでいる状態にあるため、以下のとおり変更する。</p> <p>【変更案】 乳幼児期は、基本的な生活習慣を身につけ、学童・思春期は、きちんと食べ、よく遊び、よく学び元気にのびのび育つ環境を整えることが、子どもの発育や成長を促すことにつながります。</p> <p>本市における毎日朝食を食べる児童生徒の割合は、コロナ禍以前は増加傾向にあったものの、近年は伸び悩んでいます。また、その割合は全国平均よりも低いため、引き続き適切な食習慣の理解促進が必要です。</p> <p>健全な発達・成長を支える体力づくりについても、学校と連携した取組などの推進を図り、児童生徒の体力・運動能力の向上をめざすことが求められています。</p>	学校教育部	24-25
				<p>一人ひとりが自立し、社会の一員として主体的に行動し、活躍するためには、それぞれの子どもがもつ個性や能力を伸ばすとともに、それらを発揮できる環境づくりが必要です。</p> <p>つまり、「確かな学力」をはじめとした「生きる力」の育成であり、一人ひとりに目を向けた教育が重要です。</p> <p>本市における学力状況は依然として厳しく、これを克服することが喫緊の課題である一方、ICT技術を活用した教育の充実やそれぞれの子どもたちが輝く取組を、学校と家庭、地域が連携・協力して支援することが求められています。</p>				<p>「生きる力」は「生きるための力」に変更した方がよい。ユネスコが中心に今提唱している大きい課題としてこの「生きるための力」が、社会の中で、集団で、対話しながらみんなで生きていくという社会性が、国際的にも今問われている。そういう力こそ身につけることが必要で、考えていかなければならない。</p>	<p>「確かな学力」、「生きる力」は文部省が掲げる理念においてこのように表現されており、学習指導要領からの引用の意味も含んでいるため、従来どおりとしたい。</p>
10	岸和田の次世代を育むまち	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	② 子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援を行う	<p>心身ともに健全に子どもが育つためには、よく遊び、よく学ぶことのできる、のびのびとした環境とともに、他者を理解する心の醸成が大切です。</p> <p>近年は、都市化に伴う地域コミュニティの希薄化が進んでおり、子どもが異なる世代の人たちや社会との関わりをもつ機会が徐々に少なくなっていますが、子どもが社会性を身につけるためには、家庭や学校だけではなく、地域活動などを通じて学び、地域全体で子どもを守り育てる体制づくりが求められています。</p>		<p>全国的に、中学校の部活動の地域移行の動きがかなり進んでいる。現状と課題にその状況が全く見えないので、加えた方がいいのではないか。</p>	<p>No.15の「現状と課題」欄、並びに「行政の役割」欄の内容に「運動部活動」は含まれ、「文化部活動」についても、No.16の「現状と課題」欄、並びに「行政の役割」欄の内容に含まれるものと考えている。（そして両部活動ともNo.12にも関連している。）</p> <p>毎年度、教育委員会が策定している「岸和田市教育重点施策」においては、「連携と参画による地域づくり」、「スポーツに親しむ環境づくり」に、多くの施策や事業が含まれるため、それらのうちの一つ（中学校運動部活動の地域移行）だけ特出しするのは避け、従来どおりとしたい。</p>		生涯学習部
				<p>心身ともに健全に子どもが育つためには、よく遊び、よく学ぶことのできる、のびのびとした環境とともに、他者を理解する心の醸成が大切です。</p> <p>近年は、都市化に伴う地域コミュニティの希薄化が進んでおり、子どもが異なる世代の人たちや社会との関わりをもつ機会が徐々に少なくなっていますが、子どもが社会性を身につけるためには、家庭や学校だけではなく、地域活動などを通じて学び、地域全体で子どもを守り育てる体制づくりが求められています。</p>				<p>全国的に、中学校の部活動の地域移行の動きがかなり進んでいる。現状と課題にその状況が全く見えないので、加えた方がいいのではないか。</p>	学校教育部
12	岸和田の次世代を育むまち	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	④ 地域と連携し、子どもの社会的な心を育む	<p>心身ともに健全に子どもが育つためには、よく遊び、よく学ぶことのできる、のびのびとした環境とともに、他者を理解する心の醸成が大切です。</p> <p>近年は、都市化に伴う地域コミュニティの希薄化が進んでおり、子どもが異なる世代の人たちや社会との関わりをもつ機会が徐々に少なくなっていますが、子どもが社会性を身につけるためには、家庭や学校だけではなく、地域活動などを通じて学び、地域全体で子どもを守り育てる体制づくりが求められています。</p>		<p>全国的に、中学校の部活動の地域移行の動きがかなり進んでいる。現状と課題にその状況が全く見えないので、加えた方がいいのではないか。</p>	<p>No.15の「現状と課題」欄、並びに「行政の役割」欄の内容に「運動部活動」は含まれ、「文化部活動」についても、No.16の「現状と課題」欄、並びに「行政の役割」欄の内容に含まれるものと考えている。（そして両部活動ともNo.12にも関連している。）</p> <p>毎年度、教育委員会が策定している「岸和田市教育重点施策」においては、「連携と参画による地域づくり」、「スポーツに親しむ環境づくり」に、多くの施策や事業が含まれるため、それらのうちの一つ（中学校運動部活動の地域移行）だけ特出しするのは避け、従来どおりとしたい。</p>	生涯学習部	32-33
				<p>心身ともに健全に子どもが育つためには、よく遊び、よく学ぶことのできる、のびのびとした環境とともに、他者を理解する心の醸成が大切です。</p> <p>近年は、都市化に伴う地域コミュニティの希薄化が進んでおり、子どもが異なる世代の人たちや社会との関わりをもつ機会が徐々に少なくなっていますが、子どもが社会性を身につけるためには、家庭や学校だけではなく、地域活動などを通じて学び、地域全体で子どもを守り育てる体制づくりが求められています。</p>				<p>全国的に、中学校の部活動の地域移行の動きがかなり進んでいる。現状と課題にその状況が全く見えないので、加えた方がいいのではないか。</p>	学校教育部

No.	第1期基本計画（記載内容を転記しています）			第2期基本計画に向けて	第2回審議会	評価担当部	基本計画ページ		
	基本目標	個別目標	個別目標の方向性	現状と課題	現状と課題（新）			意見	対応案
13	岸和田の次世代を育むまち	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	⑤ 地域の産業を担う人材育成を進める	産業分野をはじめ、地域社会に貢献できる人材の育成をめざすため、市立産業高等学校においては、時代のニーズに応じた専門教育の充実や地域と連携した取組を進める必要があります。		高校の授業料無償化を受けて、岸和田市立産業高校は、改めてその役割が問われていると思う。産業基盤を支える人の育成という役割があり、それが位置づけられているのか。	現状と課題に記載している内容のほか、本市教育委員会が毎年定めている「教育重点施策」の中では地域社会で活躍できる人材の育成を目的として取組が進められている。	教育総務部	34-35
41	安全で安心して暮らせるまち	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	② 発災時にみんなが迅速かつ柔軟に対応できる環境づくりを進める	我が国は、台風や大雨、土砂災害、地震などの自然災害を受けやすい環境にあり、本市においても、平成30（2018）年の台風21号の記録的な暴風による被害が記憶に新しいところです。	我が国は、台風や大雨、土砂災害、地震などの自然災害を受けやすい環境にあり、本市においても、平成30（2018）年の台風21号の記録的な暴風による被害が記憶に新しいところです。 市民の防災意識は時間の経過とともに薄まるもので、平常時からの意識啓発や準備、いざという時の地域で助けあえる仕組みづくりなど、災害に備えた取組を行うことが必要です。 そのためには、市民や地域、行政などが協力しあって取り組むとともに、海から山までという地理的な特性を踏まえて、それぞれの地域にあった取組や、お互いに助けあえる仕組みなどを構築することが求められています。	第1期に記載していた過去の災害を削除したことはよいが、防災意識を持たせるために、「今後予想される南海トラフ地震等の巨大地震」という文言を明示的に入れた方が現状と課題を示せるのではないかと。	南海トラフ巨大地震については、直前のNo.40の現状と課題のところで述べている。今後予想される巨大地震に備えるべきところは委員ご指摘のとおりだが、あえて内容を重複させなくても良いと考えるため、変更案のとおりとしたい。	危機管理部	70-71
				一方、時間の経過とともに、市民の防災意識が薄まりつつあり、平常時からの意識啓発や準備、いざという時の地域で助けあえる仕組みづくりなど、災害に備えた取組を行うことが必要です。 そのためには、市民や地域、行政などが協力しあって取り組むとともに、海から山までという地理的な特性を踏まえて、それぞれの地域にあった取組や、お互いに助けあえる仕組みなどを構築することが求められています。				消防本部	70-71
45	人と自然が共生した住みよいまち	良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている	③ まちの美化を進める	美化問題や公衆衛生においては、モラルの低下による不法投棄やポイ捨て、落書き、動物の糞害、また、生活排水及び工場排水等によって、身近な水路や河川、海の水質汚濁などが生じています。	美化問題や公衆衛生においては、モラルの低下による不法投棄やポイ捨て、落書き、動物の糞害、また、生活排水及び工場排水等によって、身近な水路や河川、海の水質汚濁などが生じています。 このような中、市民一人ひとりが不法投棄やポイ捨てなどをしないよう心がけるなど、マナー向上の意識をもつことが重要です。特に、落書きなどを生じさせない積極的な取組を進めることが必要です。 また、下水道等の各処理施設における適正な処理機能を維持することなどにより、後世を担う子どもたちをはじめ、いつまでも安心して暮らすことができる、衛生的で美しいまちを持続することが求められています。	道路の陥没など注目度が高いと思うので、現状に文言を少し入れた方がわかりやすい。	ご指摘を踏まえ、以下のとおり変更する。 【変更案】 美化問題や公衆衛生においては、モラルの低下による不法投棄やポイ捨て、落書き、動物の糞害、また、生活排水及び工場排水等によって、身近な水路や河川、海の水質汚濁などが生じています。 このような中、市民一人ひとりが不法投棄やポイ捨てなどをしないよう心がけるなど、マナー向上の意識をもつことが重要です。特に、落書きなどを生じさせない積極的な取組を進めることが必要です。 また、近年は下水道管が腐食や老朽化により破損し、道路陥没の発生リスクも高まっています。そのため下水道管路も含め、下水道等の各処理施設における適正な処理機能を維持することなどにより、後世を担う子どもたちをはじめ、いつまでも安心して暮らすことができる、衛生的で美しいまちを持続することが求められています。	環境農林水産部	78-79
				また、下水道等の各処理施設における適正な処理機能を維持することなどにより、後世を担う子どもたちをはじめ、いつまでも安心して暮らすことができる、衛生的で美しいまちを持続することが求められています。				下水道河川部	78-79

No.	第1期基本計画（記載内容を転記しています）			第2期基本計画に向けて	第2回審議会	評価担当部	基本計画ページ		
	基本目標	個別目標	個別目標の方向性	現状と課題	現状と課題（新）			意見	対応案
60	みんなで作る持続可能なまち	持続可能で信頼される行政になっている	① 業務の効率的かつ効果的な推進に資する職員の育成を進める	<p>先端技術を活用するスマート自治体への転換が求められている中、それら技術の活用のためには、個々の職員の能力開発に取り組むことが求められています。</p> <p>また、これまで前例踏襲主義やコスト・サービス意識の欠如など、厳しい指摘がなされてきたことを踏まえ、引き続き、効果的・効率的な行政運営がなされるよう、職員一人ひとりの意識向上に努めることが必要です。</p>	<p>人口減少や少子高齢化に伴い、行政課題は複雑化・多様化しています。こうした状況の中で、持続可能な行政サービス提供体制を構築するためには、限られた人材を最大限に活用し、課題解決に取り組む必要性が一層高まっています。</p> <p>また、先端技術を活用するスマート自治体への転換が求められている中、それら技術の活用のためには、個々の職員の能力開発に取り組むことが求められています。</p>	<p>「限られた人材」という言い方は言い訳に聞こえる。行政の役割を進めていくために、「個人の特性を最大限に活用し、適材適所に、より課題解決に取り組む必要性が求められています」とする方が良いのではないか。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、変更案を以下のとおり変更する。</p> <p>【変更案】 人口減少や少子高齢化に伴い、行政課題は複雑化・多様化しています。こうした状況の中で、持続可能な行政サービス提供体制を構築するためには、職員一人ひとりの特性を最大限に活かし、課題解決に取り組む必要性が一層高まっています。</p> <p>また、先端技術を活用するスマート自治体への転換が求められている中、それら技術の活用のためには、個々の職員の能力開発に取り組むことが求められています。</p>	総務部	102-103